

■ 施策評価シート

施策番号	14-01-①	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	良好な環境の保全と創出
施策名	自然環境の保全		

施策の概要

良好な環境を次世代に引き継ぐため、身近な自然に興味や関心を持っていただくための「いきもの調査」や良好な自然を維持している地域を保全する取組等を市民・団体・事業所等とともに進めます。

成果指標(単位)	自然環境保全地区(地区数)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	17	17	18	18
実績値	16	16	16	—	—

成果指標実績に対するコメント

「草津市の良好な環境保全条例」に基づき、残された自然環境を少しでも多く保全し次世代に継承すべく、大宮若松神社を自然環境保全地区として新たに指定することに努めた。また、現存の地区については、台風21号により倒木等の被害が発生した地区を対象に、他の健全な植物への2次被害を防止する等、良好な環境の保全に努めた。

施策の達成度評価

自然環境保全地区を新たに指定し、目標値を達成した。また、自然環境保全地区や保護樹木について、市ホームページやパンフレットによる周知や、いきもの調査を通じて自然環境を残していく大切さを知っていただく機会を創出した。

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方

新たに追加した自然環境保全地区の周知を行い、また、次の新規指定候補地の選定へ向けた取組を進める。その他、現存の自然環境保全地区への助成、保護樹木の健康診断や補助金交付のほか、いきもの調査などを通じて市民の身近な自然への興味関心を醸成し、市域の良好な自然環境の保全に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自然環境保全啓発推進事業	環境政策課	○	大宮若松神社の自然環境保全地区新規指定(平成31年4月1日指定)に向け調整を行い、市域における良好な環境を保全した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
環境審議会運営業務	環境政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-01-②	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	良好な環境の保全と創出
施策名	環境学習の拡充		

施策の概要

環境学習等に関わる様々な情報の提供や発信、環境学習に取り組む人・団体等の活動支援を図りながら、市民・事業者・行政等の連携を拡充し、市全体のエコミュージアムの取組を推進します。

成果指標(単位)	こども環境会議の参加団体数(団体)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	57	60	63	65
実績値	53	57	55	—	—

成果指標実績に対するコメント

参加団体は、前年度に対し1団体(子ども)増加したものの、3団体(大人)減少したため、計2団体減少し、目標値を達成することができなかった。しかしながら、出展ブース数は、前年度87ブースに対し、10ブース増加し97ブースの参加となった。また、市内の小中学校は全校参加があった。

施策の達成度評価

環境基本計画に基づき、環境学習社会づくりとして、『環境学習教材の貸出』や『環境学習への講師派遣』、「子どもと大人が環境について議論する場」「子どもと大人が活動を発表・交流する場」である『こども環境会議の開催』に加え、新たにできた「くさつエコスタイルプラザ」での体験学習やイベントを通じて、施策の目標達成に向けて事業を実施した。

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方

『環境学習教材の貸出』や『環境学習への講師派遣』の内容を充実させるとともに、『こども環境会議』は、新たな環境啓発の拠点である「くさつエコスタイルプラザ」で開催し、より交流・情報交換が活発になるよう、実行委員会において内容の充実を図るとともに、成果指標の目標値達成に向けて、多様な企業や団体等へ参加の呼びかけを行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境学習推進事業	くさつエコスタイルプラザ	○	教材貸出事業や講師派遣事業は、学校や地域での環境学習の推進に寄与している。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出

施策番号	14-01-③
------	---------

施策名	環境汚染、環境負荷対策の促進
-----	----------------

施策の概要

河川の水質等に係る環境調査を継続的に実施するとともに、環境負荷の低減のため事業所等の適切な指導に努めます。

成果指標(単位)	環境管理基準(BOD)の達成状況(達成回数/測定回数)(回)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	24/24	24/24	24/24	24/24
実績値	22/24	23/24	19/24	—	—

成果指標実績に対するコメント

平成30年度においては、狼川においてのみ基準を満足しない結果が何度かあり、昨年度と比較すると目標値に対する実績値としては減少している。

施策の達成度評価

調査の結果、狼川で数回環境管理基準を超過したため、今後も河川監視の強化に努めるとともに、特異な状況が確認された際には、随時原因を調査し、流域の事業所指導を継続していく必要がある。

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方

河川水質の監視をつづけるとともに、環境負荷の低減に向けた事業所等の適切な指導に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境調査事業	環境政策課	○	環境管理基準(BOD)を高水準で維持することができる。
事業所等指導事業	環境政策課	○	定期的に事業所へ立ち入り指導を実施するとともに、環境負荷が大きい懸念される事業所を定期的にパトロールし、積極的に指導啓発できた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
流域下水道維持管理負担金事務	河川課
市街地排水浄化施設維持管理事業	河川課
浄化槽法指導事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	環境
基本方針	低炭素社会への転換

施策番号	14-02-①
施策名	様々な主体が参画するプラットフォームの拡充

施策の概要

様々な主体が参画するプラットフォーム(基盤組織)である「草津市地球冷やしたい推進協議会」の会員数の増加によるネットワークの拡充を図り、低炭素社会への転換に向けた取組を推進します。

成果指標(単位)	草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数(者)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	74	76	78	80
実績値	71	72	72	—	—

成果指標実績に対するコメント

「愛する地球のために約束する協定」の締結を行った協定会員2者と、一般会員2者の計4者が増えたが、協定会員2者と一般会員2者の計4者が退会したことから、昨年度に対し増減なしとなり、目標値を達成することはできなかった。

施策の達成度評価

市内事業所等への訪問による「愛する地球のために約束する協定」の周知活動の結果、新たに協議会員を得ることができた。また、新たに「愛する地球のために約束する協定」に関するポスターを作成しPRするほか、草津市地球冷やしたいプロジェクトの推進や各イベントでの啓発活動、先進地視察研修などを草津市地球冷やしたい推進協議会で取り組むことができた。

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方

協定会員の獲得に向けた市内事業所等への勧誘の強化を図るため新たな事業を協議会において検討するほか、各種イベントやホームページ、くさつエコスタイルプラザでの啓発展示など協議会のPRを積極的に行うとともに、温暖化対策に資する様々な行動を選択する国民運動「COOL CHOICE」を推進し、低炭素・脱炭素社会への転換に向けた取組を進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

パリ協定の採択および発効、国の地球温暖化対策計画の策定、気候変動適応法の施行などにより、気候変動や地球温暖化対策の取組の気運が国内のみならず、国際的にも高まっているといえる。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域協議会運営事業	くさつエコスタイルプラザ	○	協議会全体で地球冷やしたいプロジェクトを推進し、低炭素社会への転換に向けて取り組むことができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-02-②	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	低炭素社会への転換
施策名	省エネルギー・新エネルギー利用等の推進		

**施策の概要**  
 イベントや助成制度等を通じ、省エネ・省CO2の推進、新エネルギー利用等の普及啓発を図り、環境に配慮したまちづくり(スマートエコシティ)に寄与していきます。

成果指標(単位)	イベントにおける省エネ・新エネに係る啓発者数(人)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値		1,860	1,920	1,980	2,040
実績値	1,780	2,300	4,383	—	—

**成果指標実績に対するコメント**  
 宿場まつりや地球冷やしたい推進フェアなどの市内各所のイベントのほか新たなクリーンセンターで行ったリサイクルフェアにおいて、省エネルギーと新エネルギー等に関する啓発を実施し、昨年度実績値および目標値を上回る結果となった。

**施策の達成度評価**  
 宿場まつりや草津エコフォーラム、草津市地球冷やしたい推進フェアなど、様々なイベントのほか、新たに誕生したクリーンセンター内の「くさつエコスタイルプラザ」への来場者に対し、見学案内や啓発展示等によって、省エネルギーおよび新エネルギーに関する啓発や周知活動を行った。また、雨水タンク設置費補助金と蓄電池等設置費補助金による省エネ機器等の購入助成を行うことで、省エネルギーの推進を図った。

**評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方**  
 各種イベントにおける啓発活動に加え、くさつエコスタイルプラザでの啓発展示の充実を図るとともに、省エネルギー・新エネルギーの先進事例や国、県の補助制度などの情報を収集し、情報提供の充実を図る。また、ごみの焼却に伴う熱を利用した発電設備がある新たなクリーンセンターのPRを積極的に行う。

**施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項**  
 パリ協定の採択および発効、国の地球温暖化対策計画の策定、気候変動適応法の施行などにより、気候変動や地球温暖化対策の取組の気運が国内のみならず、国際的にも高まっているといえる。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
エネルギー対策事業	くさつエコスタイルプラザ	○	省エネルギーおよび新エネルギーに関する啓発や周知活動を図るとともに、省エネ機器等の購入助成を行うことで、省エネルギーの推進を図ることができた。
広報啓発活動事業	くさつエコスタイルプラザ	○	環境にやさしい週間事業や地球温暖化防止月間推進事業など環境保全の総合的な啓発を図ることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
風力発電施設維持管理事業	環境政策課

成果達成度の表示について  
 ◎ 期待を超える成果があった  
 ○ 期待どおりの成果があった  
 △ 期待未満の成果であった  
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-03-①	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	資源循環型社会の構築
施策名	廃棄物の発生抑制・再使用・資源化の推進		

施策の概要

廃棄物の発生抑制と再使用による廃棄物発生量削減の取組と、資源化による処分量削減の取組を推進します。

成果指標(単位)	ごみの資源化率(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	21.8	22.3	22.8	23.4
実績値	20.2	19.3	19.2	—	—

成果指標実績に対するコメント

資源ごみ量のうち、古紙類が近年減少傾向にあり、平成30年度の行政回収量は1,116tで、前年度の1,154tに比べ38tの減少、平成30年度の集団回収量は3,401tで、前年度の3,593tに比べ192tの減少となった。また、全体のごみ量も増加したことから、平成30年度における「ごみの資源化率」は、目標値の22.3%に対して、実績は19.2%となり、目標に達しなかった。

施策の達成度評価

『草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画』に定める1人1日あたりのごみの排出量の目標について、家庭系ごみの目標値430g/人に対して439g/人、事業系ごみの目標値285g/人に対して283g/人となっており、令和3年度目標の達成に向けて、廃棄物の発生抑制を図ることができている。(参考 平成20年度実績 家庭系ごみ536g/人、事業系ごみ356g/人)

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方

『草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画』に基づき目標達成に向け取り組んでいく。家庭系ごみについては、焼却ごみ類に多く含まれる古紙類の分別の徹底、生ごみの削減を中心に取り組み、事業系ごみについては、引き続き事業所に対するごみの分別徹底や食品残さの削減、資源化に向けた取組を進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ問題を考える草津市民会議活動補助事業	くさつエコスタイルプラザ	○	市民会議が主催となり、行政との協働により、市内一斉清掃やリサイクルフェアの開催、各種イベントでの啓発等、3Rの推進に努めた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみ減量化推進事業	資源循環推進課
ごみ減量化推進事業	環境政策課
ごみ減量化推進事業	くさつエコスタイルプラザ

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-03-②	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	資源循環型社会の構築
施策名	廃棄物の適正処理		

施策の概要

適正な収集体制の堅持と新クリーンセンターの整備によって、引き続きごみを適正に処理します。また、同センターを資源循環型社会づくりの拠点として、施設見学者の受け入れや市民活動の積極的な展開を図ります。

成果指標(単位)	排ガス中のダイオキシン類測定結果(ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> )				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	1.0	0.1	0.1	0.1
実績値	0.026	0.014	0.00018	—	—

成果指標実績に対するコメント

一般廃棄物処理施設の維持管理の技術上の基準を満たすよう施設の運転を行った結果、旧施設の排ガス中のダイオキシン類の測定値は、法令で定められた基準値の5ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>はもちろんのこと、目標値である1ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>も満たすことができた。

施策の達成度評価

平成30年3月16日に本格稼働した新クリーンセンターについて、これまでどおり適正なごみ処理に努めた。

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方

排ガス中のダイオキシン類の濃度については法令で定められた新施設の基準値(1ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>)の10分の1である0.1ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>を自主基準値として定め、この自主基準値を超過することのないよう、ごみを適正に処理していく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ収集運搬事業	資源循環推進課	○	各家庭から排出される廃棄物の定期収集を行うことにより、生活環境の保全に努めた。
廃棄物処理施設整備事業	資源循環推進課	○	新クリーンセンターの整備が完了し、平成30年3月に本格稼働させることができた。
クリーンセンター管理運営事業	資源循環推進課	○	計画的・定期的な施設の補修や、平成30年3月からの新施設への移行により、ごみ焼却処理施設を適正に維持管理することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみ収集運搬事業	くさつエコスタイルプラザ
広域廃棄物埋立処分場建設費負担事業	資源循環推進課
草津市処分場管理事業	資源循環推進課
湖南広域行政組合運営負担金事務	資源循環推進課
指定ごみ袋購入配布事業	資源循環推進課
ごみ分別啓発事業	資源循環推進課
ごみ分別啓発事業	環境政策課
クリーンセンター管理運営事業	くさつエコスタイルプラザ
ごみステーション新設改修補助事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築

施策番号	14-03-③
施策名	環境美化の推進

**施策の概要**  
 ごみの不法投棄防止のため、定期的なパトロール等を実施するほか、市民・事業者・行政等が協力し、環境美化に努めます。

成果指標(単位)	不法投棄ごみ率: 不法投棄ごみ量 / ごみ発生量 (%)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
実績値	0.02	0.02	0.02	—	—

**成果指標実績に対するコメント**  
 平成29年度と比べ、不法投棄ごみ量は840kg増加したが、全体のごみ量も増加したため、不法投棄ごみ率は同率となった。

**施策の達成度評価**  
 不法投棄ごみ量は増加したものの、パトロールによる不法投棄発見箇所および投棄発見回数は減少しており、重点地区に対する啓発や、早期回収による不法投棄の誘発の防止など、パトロールによる一定の効果がみられる。

**評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方**  
 事業効果の高いパトロールは引き続き実施するとともに、監視カメラやダミーカメラを有効に活用し、粘り強く不法投棄の解消を目指す。また、悪質性が高いと判断した場合は、警察への通報も含め、地域と連携し解決を図る。

**施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項**

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
不法投棄対策事業	資源循環推進課	○	不法投棄発見箇所および投棄発見回数は減少しており、パトロール業務の継続や監視カメラ設置が不法投棄の防止につながった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
放置自動車廃物判定委員会運営事業	資源循環推進課
生活環境対策事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について  
 ◎ 期待を超える成果があった  
 ○ 期待どおりの成果があった  
 △ 期待未満の成果であった  
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。